学校番号	3028

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院），「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新編地理資料 2025」（東京法令出版），「2025 ﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸｵﾌﾞｻﾞﾜｰﾙﾄﾞ」（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理を学ぶことの意義は地理的な知識を吸収すること，地理的な見方・考え方，地図やGISの活用をはじめとする地理的技能を身に付けることに留まりません。それらを基に日本国内や世界全体で直面する様々な社会問題や地理的事象を私たち自らの手で考察できるようにすることで，平和で民主的な国家・社会を切り拓く総合力を培うことにあります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】データや資料から地理を理解し、文化の多様性を考察できる広い視野を養う。
【思考力・判断力・表現力等】世界史・日本史との関連性を意識しながら地理的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】国際社会に生きる資質を主体的学習を通じて養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理情報，地理的事象および地理的課題について知識として理解する。あわせて地理情報を収集し，読み取り，まとめる技能を身に付ける。	地理情報，地理的事象および地理的課題について必要に応じて主題を設定し，多面的・多角的に考察し，表現する力を身に付ける。	地理情報，地理的事象および地理的課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期1	地図と地理情報システム	①　地球上の位置と時差 ②　地図の役割と種類	地図・地理情報システムについて a:役割や有用性などについて理解し，活用する技能がある。 b:活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:よりよい社会の実現の為にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期2	結びつきを深める現代世界	①　現代世界の国家と領域 ②　グローバル化する世界	現代世界の地域構成について a:さまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。 b:位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:よりよい社会の実現の為にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
前期3～後期1	生活文化の多様性と国際理解	①　生活文化の多様性 ②　世界の地形と人々の生活 ③　世界の気候と人々の生活 ④　世界の言語・宗教と人々の生活 ⑤　歴史的背景と人々の生活 ⑥　世界の産業と人々の生活	世界の人々の特色ある生活文化について a:地理的環境と相互に影響し合うことで多様性をもつことや，変容することなどについて理解している。 自他の持つそれらを尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:地理的環境との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:それらの多様性と国際理解について，よりよい社会の実現の為にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

後期2	地球的課題と国際協力	① 複雑に絡み合う地球的課題 ② 地球環境問題 ③ 資源･エネルギー問題 ④ 人口問題 ⑤ 食料問題 ⑥ 都市･居住問題	地球的課題について a:各地で共通する傾向性や相互の関連性などについて大観し理解している。 解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b:地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:国際協力と結びつけて，よりよい社会の実現の為にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価
後期3	自然環境と防災	① 日本の自然環境 ② 地震･津波と防災 ③ 火山災害と防災 ④ 気象災害と防災 ⑤ 自然災害への備え	我が国をはじめ世界でみられる自然災害について a:地域の自然環境の特色と規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応との関わりとともにそれらの重要性について理解している。 対応したハザードマップや各種の地理情報について，収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然環境と防災について，よりよい社会の実現の為にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

後期4	生活圏の調査と地域の展望	① 生活圏の調査と地域の展望	生活圏の地理的課題の課題について a:生活圏の調査を基に，解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b:主題を設定し，解決に向けた取り組みなどを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望に結びつけて，よりよい社会の実現の為に主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 課題提出	グループワークの観察 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度